

豊橋駅前大通南地区 まちづくりビジョン

まちは変わり～懐かしさが新しい
駅南地区



豊橋駅前大通南地区
まちなみデザイン会議

2011年3月

駅前大通から水上ビルに至る駅南地区。

近年、新豊橋駅やココラフロントなど新しい施設がオープンし、さらに芸術文化交流施設の建設が進められるなど大きな変化をみせています。

「豊橋駅前大通南地区まちなみデザイン会議」では、このような動向を活かした魅力あるまちづくりを地域が主体となって展開していくことをめざし、「まちづくりビジョン」をとりまとめました。

このビジョンにはまちづくりへの様々な思いがこめられています。この思いを地域のみんがが共有し、ともにその実現にむけて行動を起こしていくことを期待しています。

駅南地区の魅力

豊橋のまちなかの中心として発展してきた駅南地区。現在に至るまで時代の“層”が積み重ねられている様々な魅力が生まれ出されています。

路面電車の走る 豊橋のメインストリート「駅前大通」

戦災復興でつくられた50mの幅員を有する駅前大通。全国的に少なくなった路面電車が走る通りは豊橋の“誇り”です。広い歩道には彫刻作品が並びます。



人々を引きつける魅力を持つ「水上ビル」

単層用水の上につくられた「水上ビル」。独特の景観を持ち、駄菓子問屋など懐かしさを残す一方でブティックなど若い人のお店もあり、渾然一体とした魅力があります。天気を気にせず歩けるアーケードは現在も健在。橋の名残の礎石があるのも風情があります。



新たな賑わいを生み出す「施設整備」

ココラフロント・ココラアベニューのオープンに続いて新豊橋駅の移転・整備、豊橋南口駅前広場が整備され、新たな人の流れが生まれつつあります。2003年の西武百貨店撤退から7年余、新しいお洒落なデザイン通りを演出しています。

芸術文化の拠点となる「芸術文化交流施設」

2013年5月のオープンをめざし、建設が進む芸術文化交流施設。舞台演劇をメインに駅前にアートや芸術・文化の発信拠点ができあがります！



飲食店の集積による「夜の賑わい」

豊橋ビルをはじめココラフロント・アベニュー、駅1エリア周辺を中心に様々な飲食店が集まってきています。古い建物を活かした飲食店など個性的な店も多く、新しい店も増加しています。



古い建物を活用した飲食店

レトロな雰囲気のある「路地空間」

古い建物を活用した飲食店が立ち並ぶ駅前大通から一本南の通り。ここには幸せ地藏として有名で遠方からもお参りにくるといふ子育て地藏尊があり、魅力のある路地空間となっています。





まちの魅力を引き出す アートイベント「sebone」

水上ビルを中心としてアートでまちの魅力を引き出そうと2004年から始まったアートイベント。まちを舞台にアート展示や音楽ライブ、スタンプラリーなども行われ、アートを通してまちの魅力、まち歩きの楽しさを再発見する機会となっています。



貴重な緑の空間「狭間児童広場」

小学校跡地を活用して整備された児童広場。昔のように多くの子ども達が遊ぶということはなくなってしまいましたが、40年を経たケヤキの巨木があり、まちなかの貴重な緑地となっています。

個性あるこだわりの店が生み出す 「若者文化」

このまちに出店したいと考える若者も多く、そのこだわりがファンをひきつけ、ぶらぶら歩いて楽しいエリアだと若者に評価されています。

駅南地区の課題

様々な魅力を有する駅南地区ですが、課題も抱えています。例えば…

- ◆バスターミナルが閉鎖され、地下道などの空間がうまく使われていません。
- ◆建物が古くなり、耐震性に課題のあるものもあります。
- ◆住んでいる人が少なくなり、空き店舗が増えたり、空き地の駐車場化が進んでいます。
- ◆狭間児童広場は貴重な公共空間ですが、道路より一段高いため入りにくくなっています。
- ◆駅前大通をはじめ、まちなかの緑が有効に活用されておらず、木陰で休めるようなところが少なくなっています。

このような課題を解消するとともに、駅南地区の魅力を活かし、他にはない特徴のあるまちづくりを進めることにより、まちなかの活性化に貢献することをめざします。

まちづくり憲章

駅南エリアは、まちの中心地として時代のニーズにあわせた開発・整備が行われ、変化してきましたが、そこには各々時代の層が積み重ねられ、新しいまちが登場すればするほど、懐かしさが新しい気持ちにさせてくれます。

ここには、懐かしさを感じるものが随所にある一方で、若者の個性あるこだわりの店が新たにでき、渾然一体とした魅力にあふれています。

駅南デザイン会議は、人々の思いを受け止め、次の4つの思いをまちづくり憲章として掲げ、駅南エリアでのまちづくりから**豊**かな市民社会づくりへの**橋**渡しをしていきます。

- ① 駅南エリアは、豊橋に**新しい魅力**を生み出します。
- ② 駅南エリアは、若者からお年寄りまで様々な**歩く楽しみ**を提供します。
- ③ 駅南エリアは、**笑顔**でもてなし、みんなに**愛される**まちとなります。
- ④ 駅南エリアは、みんなの**思い**を集めて**大きな動き**をつくりだします。



昭和30年頃の様子

発行：豊橋駅前大通南地区まちなみデザイン会議
(本年度より会名が「豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議」と改称されました)
 事務局：建築クロノ(事務所内)
 〒440-0888 愛知県豊橋市駅前大通3-118
 PHONE.0532-56-0170 FAX.0532-56-0102

めざすのはこんなまち ~まちの将来像~

まちは変わり~懐かしさが新しい・駅南地区

昭和の頃の懐かしい景観をとこところに残している駅南地区。それから50年近くが過ぎて、時代が積み重なって来ています。新しいビルやお店、新しい場所ができればできるだけ、懐かしいところにも新たな発見があります。

私たちは、「歩くこと」が「駅南のまちづくり」にとって、とても重要なテーマだと気付きました。そこで、駅南地区を5つの特徴あるエリアにわけて、それぞれの「歩き方」示しました。めざすのは、「楽しく歩けるまち」です!

歩き方南1

ふれぬき輪・豊橋のシンボルストリート
「市電」も走る豊橋の輪。幅は広いけど、歩道はちょっとごちゃごちゃしています。このあたりは整理したい。それに十分すぎるほどの緑地帯! もっと素敵な「みどり」になればと思います。豊橋駅前の印象は「明るい」これも駅前大通のおかげです。もっと「はればれ」歩きましょう!



歩き方南1
“はればれ”歩きで出会いが一杯

歩き方南2

まちなか発展につながる交流のかねめ
「バスターミナル」があった頃、ここは「まちにくる」ときの「交通」の中心でした。今度は、ここが「ひと」の中心になればいいな。まだ「場の力」は残ってますよ! 休んだり、お弁当ひろげたりするような場所もほしいよ!



歩き方南2
まちのオアシスで“ほのほ”ひと休み

歩き方南3

洒落た通りと魅力的な路地のあるまち
「ココラフロント」、「ココラアベニュー」とおしゃれな新スポットと、ひとつ入れば「横丁」的な風情のある路地に個性的な飲食店が軒を連ねています。昼は「にこにこ」、夜は「もどろ歩き」? この路地空間をもっと味のあるモノにしたいましょ!



歩き方南3
“にこにこ”歩きで夢気分

歩き方南4

なつかしさが新しい・豊橋の“せぼね”
「懐かしい」と新しい「こだわり」のお店が点在する豊橋の“背骨”。用水(単営用水)の上に建っているこんな商店街、全国でも珍しいのです。アーケードのおかげで、雨の日も暑い夏の日も助かります。“ぶらぶら”歩いて、自分のお気に入りの発見しましょう!



歩き方南4
“ぶらぶら”歩きで宝物さがし

歩き方南5

広がり生み出す 暮らし楽しいまち
郵便局や銀行など「まち」にとって大切な機能を備えているものの、特徴のないのがこのエリア。もう一歩先まで来てもらう観点づくりがテーマです。ここまで歩けば、公会堂や豊橋公園までのウォーキングだって考えたくありませんよ! 疲れたら市電に乗ってもいいしね!



歩き方南5
いつも元気で“てくてく”ウォーキング



8つの取り組みを展開しよう ~まちづく

その1

駅前大通について

- ★写真に撮りたくなるような、緑豊かで風格のある豊橋のメインストリートを目指そう。
- ★歩行者も自転車も安全に安心して通行できる歩道空間にしよう。
- ★通りに開かれた店舗や施設を集め、にぎわいの再生を実現しよう。

緑あふれる通りのイメージ



楽しい通りのイメージ



その3

水上ビルについて ~その1~

- ★「水上ビル」の魅力を知ってもらうために、情報発信しよう。もう一度訪れたい、歩きやすい、買い物しやすい...
- ★「おもてなし」でファンを増やそう。
- ★空き店舗、空き室にお店やひとをどんどん誘致して、通りの元気を再生しよう。
- ★個々のお店が連携して、「水上ビル」をみんなで面白がろう。

建物デザインの統一のイメージ



季節にあわせた飾りのイメージ



その5

情報発信について

- ★積極的に、マスコミ、メディアへ情報の提供をしよう。
- ★空き店舗などを活用して、サロンのようなまちづくり拠点を整備しよう。
- ★マップづくりで、「まち」の情報をつないで、イメージや個性を形にしてみよう。

絵地図(マップ)のイメージ



その6

イベント・ソフト事業について

- ★飲食店の連携イベントで、いろいろなお店と「食」を紹介する機会をつくろう。
- ★路面電車やバスを使って「まち」に来てもらうようなしなかけをつくろう。
- ★「sebone」、「旬菜☆楽市」、地区内イベントへの協力・参加で、「いつもなんかやってる!」駅南にしよう。

食を楽しめるまちのイメージ



その2

狭間広場周辺について

- ★狭間児童広場と周辺一体をひとが集まる「まちなか」の中心にしよう。
- ★緑豊かな広場空間＝「まちのオアシス」をつくろう。
- ★いろんなひとが集まりやすいお店や施設を集めて、コミュニケーションの場をつくろう。
- ★地域のランドマークになるような建物を考えよう。

地上と地下の一体的活用のイメージ



セントラルパーク(名古屋市)

交流サロンのイメージ



トップビルズほんまち(東田市)

お洒落な通りのイメージ



青山(東京都)

レトロな雰囲気のある路地のイメージ



法善寺横丁(大塚市)

その4

路地空間について

- ★通りごとの特徴を活かして、「〇〇横丁」のような風情のある、通りの個性をつくろう。
- ★車よりひとを優先！楽しく歩ける路地空間をつくろう。
- ★駐車場上部(上空)利用、古い建物の有効利用を進めよう。

その7

緑化について

- ★公共の緑だけでなく、それぞれの家や店舗にも緑化をすすめて、「まち」に緑を増やそう。
- ★「菜の花」のような地域を代表する草花で「まちなか」を華やかに飾ろう。
- ★緑の恩恵や環境への効果を学んで、みんなで育て、緑を通したコミュニティをつくろう。

花一杯のまちのイメージ



コンナナビル(豊田市)

その8

水上ビル ~その2~

- ★いずれ建物が寿命をむかえ、取り壊したあとも、その機能が区内で継続していけるよう、その方策を検討しておこう。
- ★地区内の新しい魅力として、「水」をテーマに、水辺、環境、生物多様性など様々な視点から、憩いの空間の創出を目指していこう。

水を活かした空間のイメージ



高尾川沿いで使われていた河川を復活させた複合型ビル(岡崎市)

早期に取り組もう ~5つの重点事業~

重点事業①

駅南地区の情報発信と空き店舗活用の推進

- ◆エリアの情報発信
メディアへの働きかけ、ホームページの立ち上げ、マップの作成、空き店舗(不動産)情報の集約など
- ◆ひとさがし・仲間づくり
まちづくりへの参加者の募集、若い店主、二代目・三代目への声掛け、まちづくりの専門家、建築家、造園家、デザイナー、アーティストなど、専門分野のひとたちへのネットワークの拡充
- ◆新規出店、新規入居へのサポート
空き店舗、空家、空室情報の提供、資金補助・補助金情報の提供、マップ掲載などの広報サポート



重点事業②

アートイベントseboneとの連携・拡充

- ◆「sebone」へのサポート
参加アーティストと地元商店街とのコーディネート、広報など
- ◆まちづくりの情報発信
「sebone」期間中のワークショップ、まちづくりイベントの共催や、デザイン会議の情報の発信



重点事業③

狭間児童広場周辺整備の検討

- ◆権利者組織への協力・サポート
さまざまなアイデア、提案、提言、ワークショップやイベントの開催など
- ◆行政計画への位置づけ
まちなかの交流・回遊拠点



重点事業④

「地蔵尊」のある通りの魅力アップ

- ◆路地のイメージアップ
愛称決定、案内看板・サインなどの設置、道路の美化、緑化の推進、広報
- ◆店舗のイメージアップ
デザインの共有化・統一化、行燈、ベンチなどでの雰囲気づくり



重点事業⑤

駐車場の有効活用ほか

- ◆駐車場の上空利用
フィル・カンパニーとの連携
- ◆屋上緑化、壁面緑化の推進
緑化による省エネ・環境への配慮

